記者発表資料

令和８年７月２７日
県土整備部道路課

# ねぶたで熱く。奥入瀬でととのう。７日間。
## －奥入瀬渓流移動博物館をアスパムで開催！－

現在工事中の「奥入瀬（青橅山（あおぶなやま））バイパス」の完成後、国道102号奥入瀬渓流区間では通年の車両規制を予定しており、「奥入瀬自然博物館」として人中心の静かな空間へ生まれ変わります。

こうした取組を広く知っていただくため、観光客が多く訪れる青森ねぶた祭の開催期間に合わせて「奥入瀬渓流移動博物館」を開催します。

期間は８月１日（土）～７日（金）の７日間、青森県観光物産館アスパムを会場に、ビッグ苔ウォールや苔テラリウムの展示、顕微鏡での観察体験などを通じて、奥入瀬の自然の魅力を身近に体感できるイベントです。

県民の皆様はもちろん、青森ねぶた祭を訪れる観光客の方々にも、奥入瀬渓流の魅力と今後の取組を知っていただける絶好の機会です。ぜひ取材・報道にご協力くださいますようお願いいたします。

記

１．日時　令和８年８月１日（土）～７日（金）　１０：00～１７：00
　※１・２日は展示のみ、３日以降はスタッフが常駐しますので、現地での取材等は３日以降にお願いします。

２．場所　青森県観光物産館アスパム　２階　machicotoba（マチコトバ）
（青森市安方１丁目１番40号）

３．入場　無料

４．主催　青森県県土整備部道路課　（運営：NPO法人奥入瀬自然観光資源研究会）

５．実績　令和６年度は青森空港、三沢空港、東京スカイツリータウン®で開催、
令和７年度は青森駅、東京都御徒町モンベルで開催し、今回が６回目の開催。

| 報道機関用提供資料 | |
|---|---|
| 担当課<br>担当者 | 県土整備部道路課<br>整備推進G　工藤　一彦 |
| 電話番号 | 直通：017-734-9651<br>内線：6830 |
| 報道監 | 県土整備部次長　鈴木　英宗 |

ねぶたで熱く。奥入瀬でととのう。7日間。

# 街なかで
# 出会う、
# 奥入瀬

未来の野外博物館へ

## 奥入瀬渓流

# 移動博物館

OIRASE MOBILE MUSEUM

2026

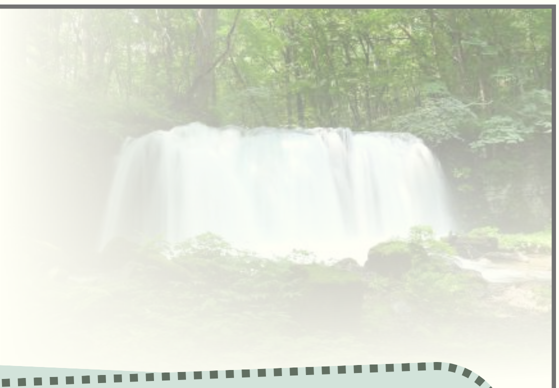
8/1(土) - 7(金)

10:00 ～ 17:00

※8/1～2は展示のみ（8/3以降スタッフ常駐）

青森県観光物産館
アスパム　2F
machikotoba-マチコトバ

# 奥入瀬渓流　移動博物館



**ねぶたで熱い青森の街で奥入瀬の自然に出会う**

本物のコケに触れ、ミクロの世界をのぞき、
展示や映像を通して、奥入瀬の魅力と未来を体感できます。

## ふさふさの苔 & 奥入瀬の神秘を体感！
## “『ビッグ』苔ウォール 展示”

奥入瀬渓流の石垣が目の前に!!

ルーペを使って
「本物の苔」をじっくり観察。

広がる小さな苔の世界に、
気分は奥入瀬さんぽ♪

## ここは苔の森⁉
## “苔テラリウム展示”

まるで
苔の森に迷い込んだような気分！

苔テラリウムの世界で、
奥入瀬気分の一枚を撮ろう♪

## 奥入瀬の魅力を発信！
## “奥入瀬渓流紹介”

現役ネイチャーガイドが、
奥入瀬渓流の
とっておきの魅力をご紹介！

さらに美しい映像で、
四季折々の奥入瀬渓流を体感。

知ればもっと、
奥入瀬渓流へ行きたくなる♪

## 小さな自然の世界へ！
## “顕微鏡コーナー”

顕微鏡を使って、
苔や変形菌を観察しよう！

ミクロの世界をのぞいてみよう♪

## “奥入瀬渓流の関連書籍・グッズ販売”

もあるよ

## 未来の奥入瀬ってどんな場所？
## “パネル展示”

近い将来、
人と自然がもっと近くなる
奥入瀬渓流。

"未来の野外博物館"を
のぞいてみよう♪

## アンケート抽選会

アンケートにお答えいただいた方に
素敵な奥入瀬渓流商品をプレゼント!

A賞:奥入瀬渓流ツアー体験招待券
× 5本
B賞:奥入瀬関連書籍
× 50本
C賞:りんごジュース
× 200本

お問い合わせ：青森県県土整備部道路課 (☎ 017-734-9651) / NPO法人奥入瀬自然観光資源研究会 (☎ 0176-23-5866)